

一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度第 3 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 7 月 28 日（土）15:00～17:00

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス 55 号館 N 棟 1 階第二会議室

出席者：理事(16名)：八田珠郎、千野裕之、小暮敏博、河野元治、上原元樹、梅村泰史、蛭名武雄、大川政志、太田俊一、地下まゆみ、篠原也寸志、高橋範行、田村堅志、丸茂克美、宮脇律郎、渡辺雄二郎

欠席理事(13名)：會澤純雄、伊藤健一、伊藤弘志、上原誠一郎、大河原正文、川俣 純、岡田友彦、桑原義博、林 亜紀、前田雅喜、牧野知之、皆瀬 慎、和田信一郎

監事(2名)：月村勝宏、山崎淳司

理事以外の常務委員(6名)：小口千明、志々目正高、鈴木正哉、手束聡子、日比野俊行、鈴木憲子

事務局：川島朝子

成立確認：理事総数 29 名の過半数 15 名、出席理事 16 名で理事会の開催は成立

審議事項

1. 平成 30 年度事業中間報告（資料 1）

(1) 学術雑誌の編集と発行

- 1) 粘土科学：日比野編集委員長から資料を基に報告があった。
- 2) Clay Science：蛭名委員長から資料を基に報告があった。

(2) 研究発表会・見学会等の開催

- 1) 第 61 回粘土科学討論会（富山大学）の開催：丸茂実行委員長から資料を基に報告があった。
- 2) 第 62 回粘土科学討論会（早稲田大学）の準備：山崎実行委員長から資料を基に報告があった。新規に開設した振込口座は討論会専用とし次回以降も使用すること、また管理は事務局にお願いするとの説明があった。

(3) シンポジウム・セミナーの開催

- 1) 第 61 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催：田村企画委員長から資料を基に報告があった。
- 2) 第 61 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備：田村企画委員長から資料をもとに説明があった。

(4) 参考粘土試料：鈴木委員長から資料を参考に報告があった。また 5 月から価格を改定したとの追加報告があった。

(5) 広報：八田会長から資料を基に報告があった。

(6) 渉外：八田会長から資料を基に報告があった。

(7) 表彰：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(8) 研究促進：八田会長から資料を基に報告があった。

(9) 庶務：篠原委員から資料の会員動向の数字を別紙に記載されて数字に訂正するとの報告

があった。平成 31 年度入会予定者としている 14 名、平成 31 年度入会とすることとなった。これに伴い、平成 30 年度総会では議決権を有しないことが確認された。

(10) 学会誌等の電子化：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(11) 常務委員会および理事会：河野常務委員長から資料を基に報告があった。資料の (2) 7 月 28 日 (土) の「常務委員会」を「理事会」に訂正した。

以上、審議の上承認された。

2. 平成 30 年度会計中間報告 (資料 2)

志々目委員から資料を基に報告があった。複数年度に渡る会費未納者について整理が必要であるとの見解が示された。また今年度分旅費を請求していない常務委員は請求をして欲しいとの要請があった。河野常務委員長より、学術振興積立金減少分について、引当金ではなく具体的な項目を記載する必要を指摘された。以上、審議の上承認された。

3. 平成 31 年度業務委託契約 (資料 3)

河野常務委員長から資料に基づき説明があり承認された。基本的には今年度と同等の委託である。前事務局時代よりも大幅に経費の節約となっているとの報告があった。

4. 平成 31 年度事業計画 (資料 4)

(1) 学術雑誌の編集と発行

1) 粘土科学：日比野編集委員長から資料を基に報告があった。

2) Clay Science：蛭名委員長から資料を基に報告があった。

(2) 研究発表会・見学会等の開催

1) 第 62 回粘土科学討論会 (早稲田大学) の準備と開催：山崎実行委員長から資料を元に報告があった。

2) 第 63 回粘土科学討論会の準備：小口実行委員長から、会期は 9 月 10 日 (火) から 11 (水) とし、会場は 9 月 9 日 (月) から予約をしているとの報告があった。

(3) シンポジウム・セミナーの開催

1) 第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催：田村企画委員長から資料を基に報告があった。

2) 第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備：田村企画委員長から資料をもとに説明があった。

(4) 参考粘土試料：鈴木委員長から資料を参考に報告があった。

(5) 広報：八田会長から資料を基に報告があった。

(6) 渉外：八田会長から資料を基に報告があった。

(7) 表彰：八田会長から資料を基に報告があった。例年通りの方法で受賞者の推薦募集をする予定である。

(8) 研究促進：八田会長から資料を基に報告があった。

(9) 庶務：篠原委員から資料を基に報告があった。

- (10) 学会誌等の電子化：河野常務委員長から資料を基に報告があった。
(11) 常務委員会および理事会：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

以上、審議の上承認された。

5. 平成 31 年度予算（資料 5）

志々目会計委員から差し替えた資料 5 を基に説明があった。Clay Science の講読料は購読料収入に含まれるとの説明があった。なお、一部修正を加えることを含めて審議の上承認された。

6. 平成 30 年度日本粘土学会学会賞等選考結果（資料 6）

小暮選考委員長から資料を基に説明が行われ、審議の結果、次の受賞者が承認された。

学会賞 高木慎介

受賞題目 「粘土鉱物-色素複合体における分子レベルナノ構造化学の開拓」

功績賞 坂本 尚史

受賞題目 「日本粘土学会参考粘土試料の創設による粘土科学の社会への普及と啓蒙」

奨励賞 黒田義之

受賞題目 「配位化学を活用した層状金属水酸化物の精密構造制御と機能開拓」

奨励賞 敷中一洋

受賞題目 「粘土鉱物をコンポーネントとした刺激応答性材料の創製」

技術賞 上原元樹

受賞題目 「環境負荷低減コンクリートの開発およびコンクリートのアルカリシリカ反応の研究」

論文賞 K. Takahashi, R. Ishii, A. Suzuki, T. Nakamura, M. Yoshida, and T. Ebina

受賞論文：Preparation of lignin/montmorillonite nanocomposite films and its characterization for electronic devices. Clay Science 21, 1-6 (2017).

7. 平成 30 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果（資料 7）

八田会長から資料を基に説明が行われ、審議の結果、次の受賞者が承認された。なお、会期が当理事会前ということがあり、すでに旅費等の助成金を支出したことが報告され、了承された。

学術振興賞 東 裕貴

受賞発表：Direct observation and optical manipulation of exfoliated niobate nanosheets.

8. 平成 31-32 年度日本粘土学会役員選挙結果（資料 8）

千野選挙管理委員長から資料を基に報告があり承認され、総会に諮る事となった。

9. 名誉会員の推薦（資料9）

河野常務委員長より資料を基に説明が行われ、審議の結果、岡田 清会員を名誉会員として総会に諮ることが承認された。

10. 平成 30 年総会議案および表彰式（資料 1 0）

河野常務委員長から資料を基に説明あった。開催時間を 10:45～12:00 に変更した。総会の案内は次回理事会後に電子メールで配信する。委任状の一部「篠原庶務委員まで」を「粘土学会事務局まで」に訂正した。さらに八田会長からの「捺印」だと「署名」の必要があることから「押印」に訂正が適当との発案があり、承認された。

11. 粘土科学討論会

(1) 第 62 回粘土科学討論会実施計画：山崎実行委員長より資料を基に説明があった。

USB で配布する要旨集のセキュリティに関する質問があった。著作権の問題から制限をかける必要はあるが、他の媒体上に要旨集全体をコピーできるようにして欲しいとの要望が出された。また PDF の品質についての質問があり、J-Stage に公開するものと同程度であるとの回答がなされた。

(2) 第 62 回粘土科学討論会シンポジウム実施計画：田村企画委員長から説明があった。

(3) 第 63 回年度科学討論会：小口実行委員長から説明があった。

以上、審議の上承認された。

12. その他：特になし

報告事項

1. 特になし

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び監事がこれに記名押印する。

平成 30 年 8 月 8 日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

会 長 八 田 珠 郎 ⑩

監 事 月 村 勝 宏 ⑩

監 事 山 崎 淳 司 ⑩